

平成 14 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 北陸電気工業株式会社
代表者名 取締役社長 野村正也
(コード番号 6989 東証第1部)
問合せ先 取締役経理部長 野村 哲
(TEL. 076-467-1111)

「HDK再生プログラム」および業績予想修正のお知らせ

平成14年12月24日開催の当社取締役会において、「HDK再生プログラム」について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

HDK再生プログラム 最後のハードルと大手術の断行

1. 経緯

- (1) 当社は平成8年6月、社長交代を機に経営の見直しに着手し、平成10年9月「経営改善3か年計画」を公表し、同年11月までに有価証券等売却(特損:102億円)を実施いたしました。
- (2) 平成12年2月、事業の再構築と資本政策に一段と踏込んだ「グループ構造改革計画」を策定し、これを機に同年6月経営体制の刷新を図り取締役9名中5名が交代いたしました。
- (3) 平成13年3月、北日本電子(株)の営業譲渡と約10億円の第三者割当増資を実施し、自己資本の充実と有利子負債の圧縮を図りました。
- (4) 平成14年3月期、子会社投融資及び事業組合出資金等の損失処理と引当で48億円の特損を計上いたしました。

2. 今後の対応について

- (1) 今年度中に、事業の選択と集中の一環として、整理を要する子会社等の最終処理を実施する一方、子会社株式の売却等による利益とキャッシュフロー確保を実現し、財務リストラの総仕上げを実現したいと考えております。
- (2) これにより連単の自己資本充実と有利子負債の大幅圧縮が実現できるものであり、再生スピードを加速させることができると考えております。ちなみに平成15年3月期の、連結有利子負債の営業CF倍率は4.9倍となる見通しであります。
- (3) 今回の(株)大泉製作所の株式譲渡はその一環であり、当社の再生に大きく寄与するものであります。株式譲渡後も引続き営業面は当社が担うものでありますし、また後述の通り、核となる新製品につきましても量産化の段階に至っております。
株主をはじめとした関係者の皆様には、「財務リストラの総仕上げと早期の復配のための選択」とご理解いただけるものと考えております。
- (4) 連結子会社で債務超過会社であります北陸興産(株)は、営業譲渡(平成13年3月)後の北日本電子(株)との合併により、平成15年3月期末までに純資産約16億円の企業に蘇生いたします。また、同様に債務超過会社である(株)光陽精密を、平成14年12月18日の株式譲渡により売却しており、問題とされる子会社群の整理が完了いたします。

(5) 今年度を財務リストラの最終ハードルとして捉え、前述の諸施策を実現することで、株主、債権者、お取引先、従業員等皆様からの信頼を得ることができるものと考えております。

(6) 平成 15 年 4 月の創業 60 周年を機に「抵抗器の HDK」から「センサとモジュールのニュー HDK」に変身させ、復活の足取りを確かなものにする覚悟で経営に取り組んでまいります。

3. 主要新製品の販売計画

(百万円)

製品名	進捗状況		15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
半導体圧力センサ	本年11月初期量産スタート 15年3月量産化予定	売上	400	3,150	4,300	4,300	5,100

(注)半導体圧力センサの用途：携帯端末器、携帯電話、腕用血圧計、アミューズメント等

なお、抵抗器(固定・可変及び高圧抵抗器)及び印刷回路基板等については、海外展開を主軸に事業の底固めの製品群と位置づけ、競争力強化に全力を傾注しております。

4. 中期事業計画 前記の施策実施後

<連結>

(百万円)

	14年3月期実績	15年3月期計画	16年3月期計画	17年3月期計画
売上高	45,816	45,500	42,400	44,000
営業利益	944	1,600	2,100	2,400
経常利益	284	500	1,200	1,600
当期利益	1,468	1,200	700	1,400
有利子負債	43,593	27,200	25,000	22,800
自己資本	2,430	3,100	3,800	5,200
有利子負債/*営業CF	7.9倍	4.9倍	4.5倍	4.1倍

(注)*営業CFは過去3ヵ年平均値(5,539百万円)

<単体>

(百万円)

	14年3月期実績	15年3月期計画	16年3月期計画	17年3月期計画
売上高	33,816	33,700	34,200	35,800
営業利益	602	1,050	1,400	1,650
経常利益	290	280	700	1,000
当期利益	4,393	200	400	1,000
有利子負債	33,497	25,800	23,800	21,800
自己資本	8,640	8,840	9,240	10,240

5. なお、一連の施策実現によりまして、平成 15 年 3 月期末の連結子会社数は 12 社(平成 14 年 3 月期末 28 社)となります。

従業員数は約 2,000 名(平成 14 年 3 月期末 3,459 名)となります。

事業の選択と集中がより一層加速され、スリムな経営体質に変身いたします。

以上により、平成 16 年 3 月期以降は、連結におきまして、每期 20 億円を上回る営業利益を計上できる見込みであり、有利子負債につきましても、平成 17 年 3 月期末 228 億円(平成 14 年 3 月期末に比べ 207 億円減)となる見込みであります。

6. 業績予想の修正

上記「HDK再生プログラム」の策定に伴い、平成14年11月15日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 15年3月期通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月15日発表)	33,700	280	60
今回修正予想(B)	33,700	280	200
増減額(B-A)	0	0	140
増減率	0	0	233.3
前期(平成14年3月期)実績	33,816	290	4,393

(2) 15年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月15日発表)	45,500	500	180
今回修正予想(B)	45,500	500	1,200
増減額(B-A)	0	0	1,020
増減率	0	0	566.7
前期(平成14年3月期)実績	45,816	284	1,468

(3) 修正の理由

有利子負債の圧縮と自己資本の充実を図るべく、これまで北日本電子株式会社の営業譲渡、第三者割当増資等の財務リストラを実施してきましたが、その総仕上げとして、本日調印致しました株式会社大泉製作所の当社保有株式譲渡とあわせ、整理を要する子会社等の抜本的最終処理を実施する方針(HDK再生プログラム)を固めました。

これに伴い、主として下記の特別損益が発生し、単体、連結とも当期利益が上方修正となる見通しであります。

	単 体	連 結
・当社が保有する子会社株式会社大泉製作所の株式譲渡に伴う売却益	3,296	2,766
・子会社北陸興産株式会社に対する当社債権放棄と北陸興産株式会社と北日本電子株式会社との合併による貸倒引当金取崩益	685	0
・その他子会社の整理損	2,333	55
・関係会社株式評価損	734	65
・当社及び子会社保有有価証券の売却及び評価損	23	459
・その他投資評価損	756	756
計	135	1,431

以 上